



メディカルサポート報告

表題：『第49回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント』

8月31日(日)～9月6日(土)に岩手県にて開催された「第49回総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント」に出場した札幌大学サッカー部のトレーナーとして理学療法士 小島が帯同してきました。

大会期間中は試合前後のコンディショニングやテーピング、傷害予防/救急対応などを実施し、大きな怪我なく大会を終えることができました。

1回戦は九州代表の日本文理大学と戦い、1-0で勝利。16年ぶりの全国大会1回戦突破を果たしました。

続く2回戦は関東代表の中央大学と戦い0-3で敗戦。惜しくも2回戦敗退となりました。



今後は12月に開催されるインカレ出場へ向け、障害予防・怪我からの早期回復へのサポートを続けてまいります。

メディカルサポート報告



表題：『第11回フットサル大会 ガールズ/レディースの部』

令和7年11月3日(月・祝) 当院主催・北海道フットサル連盟共催による「第11回フットサル大会 ガールズ/レディースの部」が北ガスアリーナ札幌46にて開催されました。

札幌市を中心とした全30チームにご参加いただきました。様々なカテゴリーのチームにご参加いただき、多くの選手の皆さまにプレーを楽しんでいただくことができました。

当日は理学療法士が帯同し、メディカルブースを設置してサポートする体制を整えさせていただきました。

今後も当院として、スポーツを楽しむあらゆる年代の方々が安心して競技を続けられるよう、理学療法士を中心に医療的な支援やコンディショニングの面から寄り添ってまいります。

これからも、フットサル大会をはじめとする地域のスポーツ活動を通して、選手の皆さまの挑戦を支え、一人ひとりが力を発揮できる地域に根ざした取り組みを継続してまいります。



学術活動報告



表題：『第50回 日本足の外科学会学術集会に参加しました』

第50回日本足の外科学会学術集会が、2025年11月13日～14日の2日間で軽井沢プリンスホテルにて開催されました。

今回は50周年記念大会ということもあり、内容も盛り沢山で、早朝7時よりセッションが開始されました。

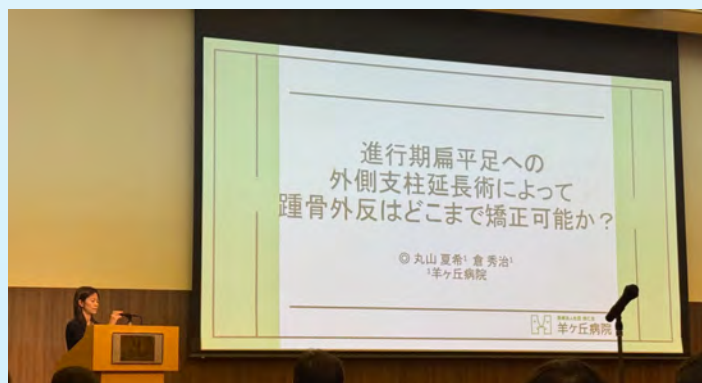
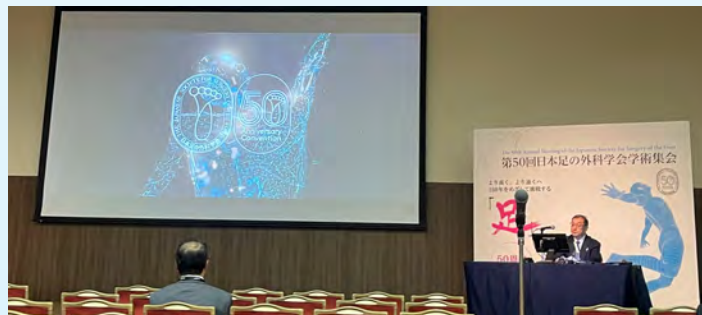
当院倉理事長は、足の外科学会の理事でもあり、今学会でも座長を務められました。

当院からは、医師の丸山夏希先生、リハビリテーション科の須貝・内野が発表を行いました。

足に関して、様々な疾患や最新の研究結果を知ることができ、非常に学びの多い学会となりました。

また当院に研修に来てくださっていた先生方も多く参加されており、全国に羊ヶ丘病院の足のネットワークができていることを嬉しく思いました！

学会で得た最新の知見を、臨床でもしっかりと活かせるよう頑張りたいと思います。





学術活動報告

表題：『第12回日本スポーツ理学療法学会学術大会』

11月29～30日に札幌で行われた第12回日本スポーツ理学療法学会において、当科の釘本が「Single leg continuous jump testによる足底屈筋力測定～信頼性と年齢別の妥当性～」という演題の発表を行いました。

内容について様々な質問がなされ、非常に有意義な学会となりました。

また、学会内では海外の著名な研究者を招いた招待講演が企画されており、国際的な知見を得ることができる非常に有意義な会でありました。

今後、今回の研究で得られた知見を元にメディカルチェック等に活用していく予定です。

研鑽を続けながら質の高い治療を提供していきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

